京都大学図書館機構 粗悪学術誌啓発リーフレット

論文投稿を検討している研究者の方へ
査読を依頼されている研究者の方へ
院生・若手研究者を指導している研究者の方へ

# 粗悪学術誌に関わらないために

## 怪しいジャーナルの手口と確認ポイント

⚠ 粗悪学術誌に関わると研究者としての評価が下がり学術的信用を失うリスクがあります

### 粗悪学術誌（いわゆる「ハゲタカジャーナル」"Predatory Journal"）とは：

「査読誌である」と謳いながら、著者から論文投稿料を得ることのみを目的として、適切な査読を行わない、低品質のジャーナルのことです。近年、**手口が巧妙化**しており、どれがこのようなジャーナルなのか判断が難しいケースも増えています。

「お金を払えばすぐに出版できる」というジャーナルは、すばやく業績を増やしたい研究者にとって、ある意味、とても便利で魅力的な存在です。しかし、その裏にひそむリスクについて、立ちどまって考えてください。

ご自身の、または指導する学生・若手研究者の大切な研究キャリアを守るため、投稿者・査読者・指導者のあらゆる立場から粗悪学術誌には「関わらない」「関わらせない」ようにしましょう。

2022.03.31

# 体験談

## 粗悪学術誌の実際のリスク

京都大学図書館機構には、学内の研究者から「粗悪学術誌と関わりそうになった」「関わってしまった」という報告が多数寄せられています。
ここでは、実際にあった体験談の一部をご紹介します。

### 投稿者として

論文を投稿したところ**何の編集もなく**アクセプトされた

**著名な研究者の名前を騙って**論文執筆依頼があった

誤って粗悪学術誌に投稿してしまい、**取り下げたいが対応してもらえない**

**共著者が投稿した**ジャーナルが、粗悪学術誌だと後から気付き、後悔した

一度連絡をとったあと、**しつこい勧誘メール**が届いて困っている

査読期間が10日と短く、**実際には中身も見られていない**と感じた

### 査読者として

レビューを担当した論文の内容がひどかったので**リジェクトしたが、無視されてそのまま掲載**された

ゲスト・エディターを引き受けたところ、多数の研究者のメールアドレスが送られてきて、**勧誘のメールを送るように要求**された

### 指導者として

他大学で、学生が論文を投稿した雑誌が粗悪学術誌と認定されたため、**学位取得に問題が生じた**と聞いた

# 巧妙化する手口

## リスト類の過信は禁物

粗悪学術誌を見わける方法として、巷間には「ここに載っているジャーナルは危険」というリストがあります。逆に、「ここに載っているジャーナルは安全」というリストなどもあります。また、信頼できるジャーナルかどうか確認するチェックリストツールも存在します。高名な論文データベースに収録されていれば危険度は低い、という見わけかたもよく行われています。

しかし残念ながら、こうしたリストやツール類、データベースも、完全に信用することはできません。近年、粗悪学術誌の出版社の手口も巧妙化しており、「安全」と言われているリストに、ジャーナルが掲載されるよう、編集や査読の方針を形だけ整えていることがあります。また、ジャーナルの評価を高めるために、投稿者に自誌引用を依頼して引用数が多いように見せかけるといった事例が報告されています。

**粗悪学術誌を見わける絶対的な指針となるリストは存在しません。**どのジャーナルに投稿するか、リスト類を過信せず、ご自身でも様々な情報を集めて、総合的に判断することが重要です。

## ジャーナルのなりすまし

既存ジャーナルの名称やISSN※を騙る偽ジャーナルのサイトが発見されています。

既存ジャーナルになりすまし、論文投稿料を詐取することを目的としています。小規模な出版社や学会のジャーナルが狙われる傾向にあります。

※ISSN: 国際標準逐次刊行物番号

投稿先のジャーナルの正式名称とISSNを確認したら、案内メールから貼られたリンクではなく、検索エンジンなどでそのジャーナルの公式サイトを検索してみましょう。

## こちらも注意: 粗悪学術集会

参加料を得ることのみを目的として開催される、悪質な学会があります。

「発表に適切なチェックが行われない」「活発な議論がない」など、参加者に有用な情報をもたらしません。ひどい場合は突然開催を中止し、参加料を返金しないこともあります。

オンライン開催学会の増加とともに、こうした粗悪な学会の存在も報告されています。

## コラム 査読にかかる時間はどのくらい？

**適切な査読には、相応の時間がかかります。投稿しようとしているジャーナルの査読期間は、同じ分野の他のジャーナルと比較して、不自然に短くありませんか？右の表で平均的な時間を見てみましょう。**

**査読期間は、そのジャーナルの公式サイトを確認しましょう。また、ジャーナル単位でトータルの査読期間などを調べられる"SciRev"※というサイトもあります。全体的な傾向の把握に活用してください。**

**※SciRev　https://scirev.org**

| | トータル査読期間 | 最初の応答までの期間 |
|---|---|---|
| 全分野 | 17 週 | 13 週 |
| 自然科学 | 14 週 | 11 週 |
| 人文科学 | 22 週 | 16 週 |

Huisman, J., Smits, J. Duration and quality of the peer review process: the author's perspective. Scientometrics 113, 633–650 (2017). https://doi.org/10.1007/s11192-017-2310-5 より、表1、2を加工

# 投稿・査読の前に確認!!

**POINT 1**

## ✓ 他の研究者に評判を聞く

同じ分野や近い分野の研究者に、そのジャーナルと関わることは研究キャリアに有益となるか、評判を聞いてみましょう。
SNSなどで、ジャーナルの質に関する意見は出されていませんか？

**POINT 2**

## ✓ ジャーナルの公式サイトを見る

案内メールのリンクからではなく、自分で公式サイトを検索して確認しましょう。
査読期間は不自然に短くありませんか？
ロゴの解像度が粗い、レイアウトが崩れているなど稚拙な点はありませんか？

**POINT 3**

## ✓ 過去の掲載論文を読む

過去にそのジャーナルに掲載された論文を実際に読んでみましょう。
公式サイトに記載された、そのジャーナルの対象範囲に合致していますか？
自分の研究を掲載するに足るクオリティの論文が掲載されていますか？

**POINT 4**

## ✓ エディターのプロフィールを調べる

公式サイトに記載されたエディターは自分が知っている、または投稿したい分野の研究者ですか？
そのエディター自身の公式サイト（所属大学など）では、そのジャーナルのエディターであると明言されていますか？

**少しでも疑念を感じたら、投稿先としてふさわしくありません**
**判断に迷う場合は、図書館機構までご相談ください**

---

**図書館機構では、学内から粗悪学術誌に関する質問・情報を受け付けています**

もし「怪しい」と思ったこと、気になった事例がありましたら、下記フォームよりお知らせください

**粗悪学術誌問い合わせフォーム**
**https://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/form/1380548**